

「受け入れられる状況にない」

桑名市議会
一般質問 震災がれきで水谷市長

【桑名】桑名市の水谷元市長は二十一日の市議会一般質問で、桑名広域清掃事業組合での震災がれき受け入れについて「現時点で受け入れられる状況にはない」との見解を示した。

組合施設（同市多度町）について「RDF（ごみ固形燃料）化施設で、一般の

焼却施設と異なる」と強調。異物混入による機械故障やRDFの品質安定化など、技術面も含めて課題が山積していると「実質的な検討段階に至っていないのが実情だ」と語った。

RDF参加の組合や自治体による協議会で燃焼テストなど技術的な課題検討を
市野善隆（新桑会）、倉本崇弘（希望）両氏への答弁。石田正子（共産）、小川満美（無会派）、水谷義雄（新自由クラブ）、辻内裕也（蒼誠会）、星野公平（共産）の五氏も質問した。